



水道料金その他都市比較・現行料金の分析

2021年3月29日

目次

上水道の料金について	3
------------	---

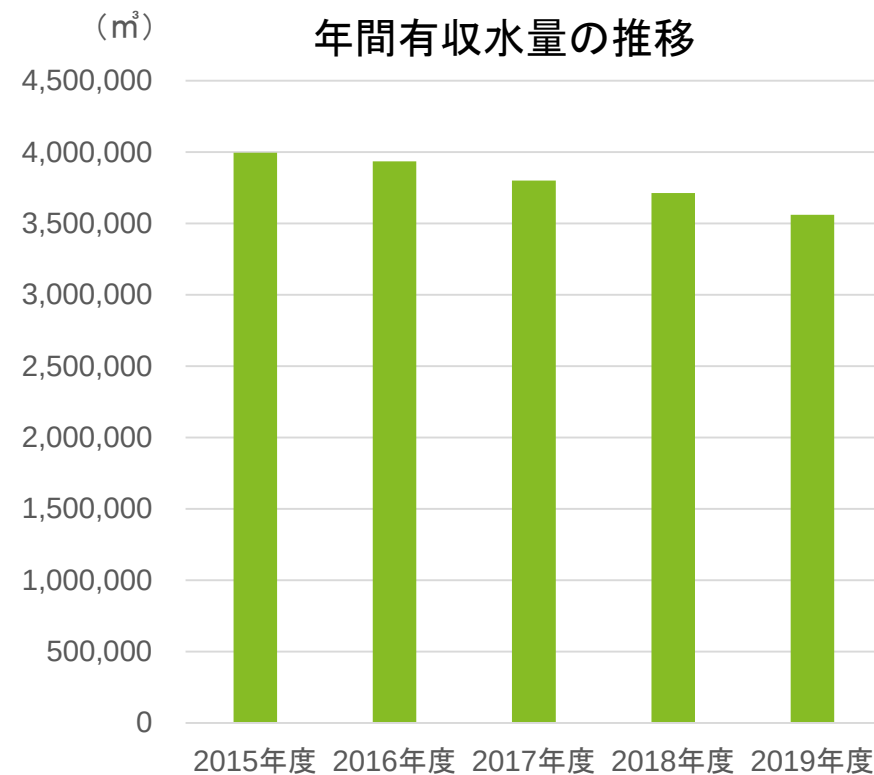
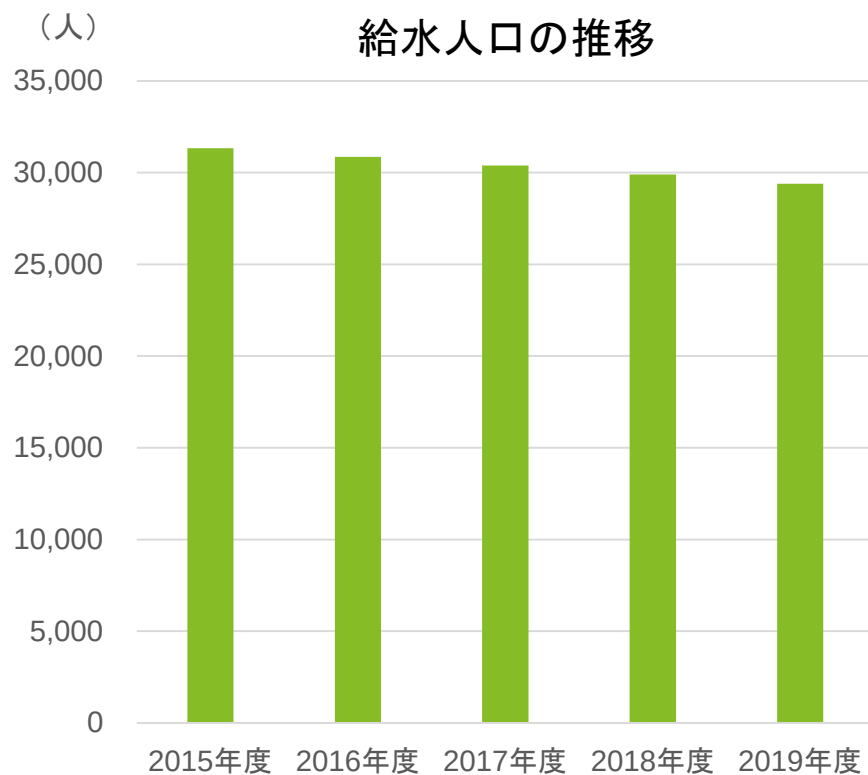
簡易水道の料金について	17
-------------	----

上水道の料金について

給水人口及び有収水量は、減少傾向にあります

概要 給水人口と有収水量の推移

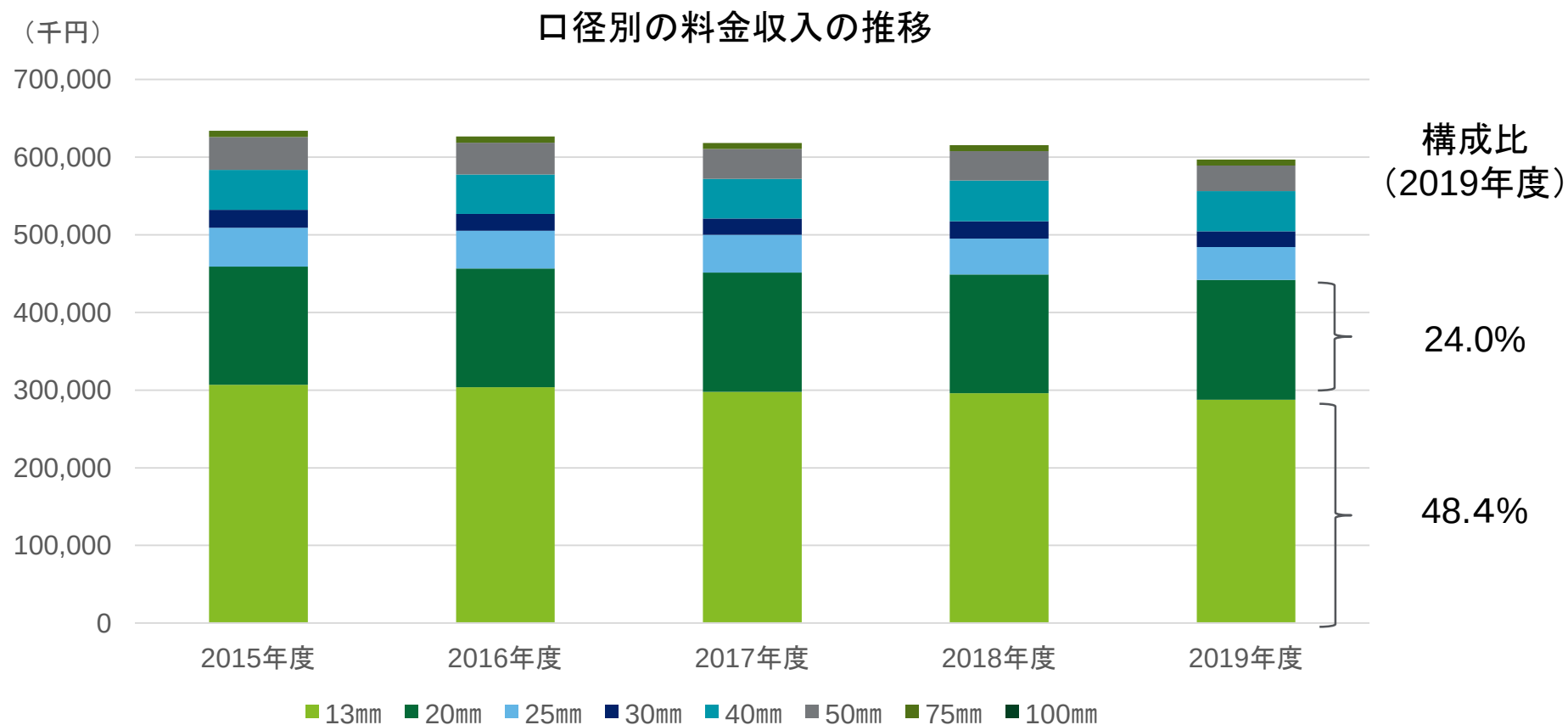
- 今後も人口減少や節水意識の向上により、この傾向は続くことが見込まれます。



料金収入のうち、13・20mm口径が72.4%を占めています

概要 口径別料金収入の推移

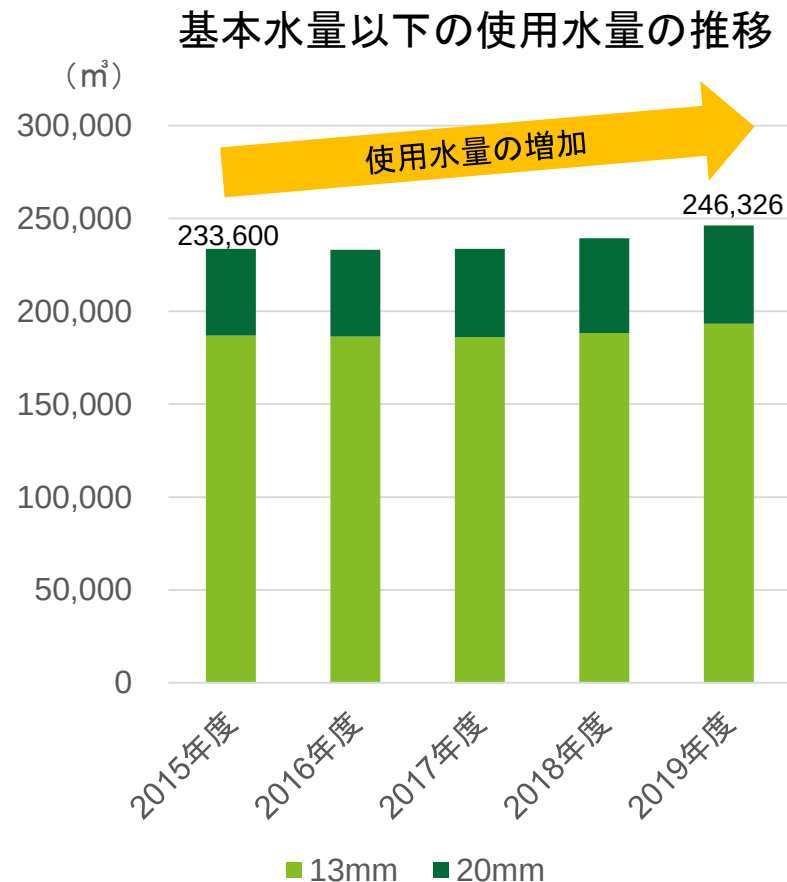
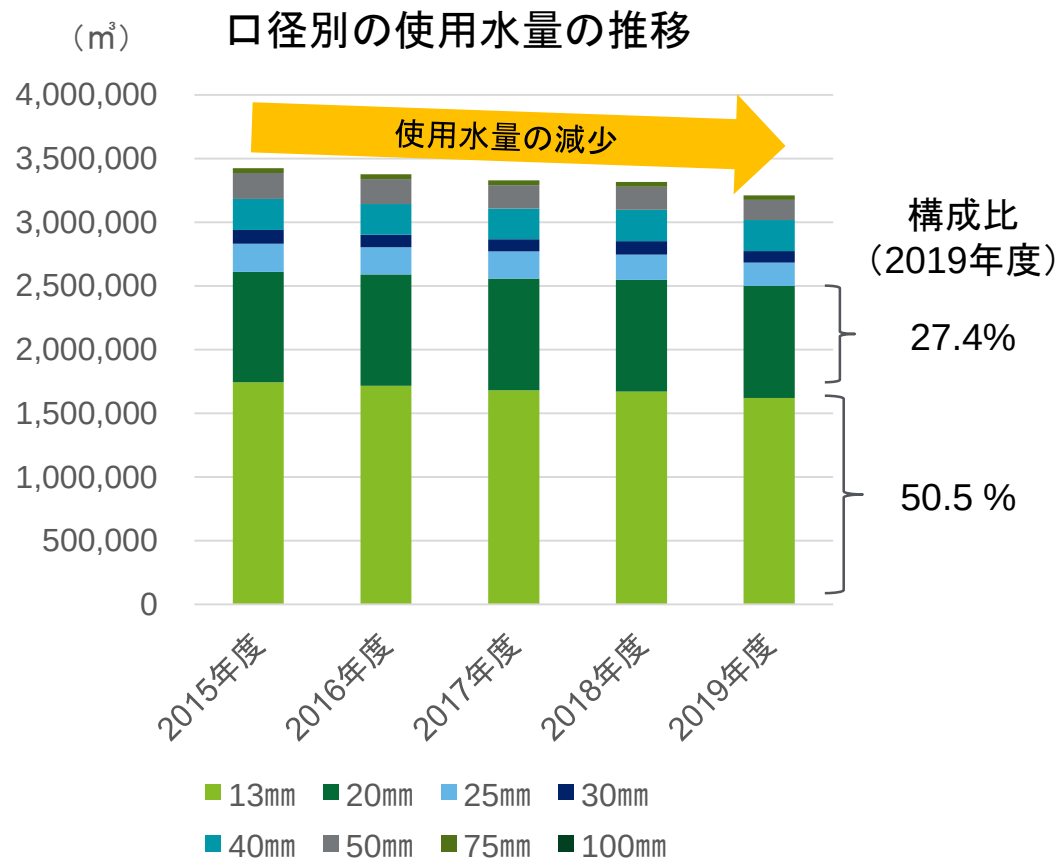
- 13・20mm口径の使用収入の合計は、全体の72.4%を占めています。



基本水量(10m³)以下の使用水量が増加傾向にあります

概要 口径別使用水量の推移

- 13・20mm口径の使用水量の合計は、全体の77.9%を占めています。
- 全体の使用水量は減少しているものの、基本水量以下の使用水量は増加傾向にあります。



平均使用水量11m³～40m³の料金収入が54.5%を占めています

概要 口径別・水量区画別の料金収入(2019年度)

- 料金収入のうち、平均使用水量11m³～40m³が54.5%を占めています。
- 平均使用水量101m³以上は20.0%と一定程度の影響があります。

平均使用 水量 (m ³)	口径								合計
	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	
0～5 10.3%	23,916	5,914	1,211	355	296	70	0	0	31,761
6～10	24,952	6,868	1,537	157	236	88	0	0	33,838
11～20	78,955	32,250	2,640	638	258	15	0	0	114,755
21～30	78,778	40,833	4,299	941	858	162	189	0	126,060
31～40	46,835	31,740	4,031	377	1,528	60	0	0	84,571
41～50	20,600	17,086	2,009	1,098	590	278	239	0	41,900
51～60	8,290	8,187	2,250	637	917	0	0	0	20,281
61～70	2,777	2,686	2,653	726	1,209	0	0	0	10,052
71～80	546	1,582	1,213	407	446	0	0	0	4,194
81～90	392	1,167	2,429	896	873	279	0	0	6,036
91～100	644	1,026	982	624	532	0	0	0	3,807
101～500	997	4,705	12,890	9,972	15,845	10,933	0	0	55,342
501～1,000	0	0	265	3,297	20,293	10,584	0	0	34,438
1,001～5,000	0	0	4,148	0	7,869	10,556	7,139	0	29,712
5,001～	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	287,682	154,044	42,557	20,122	51,751	33,025	7,567	0	596,748

※平均使用水量は、各使用者の使用水量合計を調定件数で除して算出

利用者のうち、31.3%が基本水量を下回っています

概要 口径別・水量区画別の調定件数(2019年度)

- 調定件数のうち、平均使用水量が基本水量(10m³)を下回る割合は31.3%となっています(13・20mm口径のみ)。

平均使用 水量 (m ³)	口径								合計
	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	
0～5	18,270	4,518	548	129	75	12	0	0	23,552
6～10	18,201	5,038	460	43	48	12	0	0	23,802
11～20	33,215	13,030	553	122	40	1	0	0	46,961
21～30	18,740	9,611	650	134	102	14	12	0	29,263
31～40	7,581	5,127	472	39	147	5	0	0	13,371
41～50	2,561	2,129	191	97	48	20	12	0	5,058
51～60	829	810	180	48	65	0	0	0	1,932
61～70	228	228	180	48	73	0	0	0	757
71～80	38	112	72	24	24	0	0	0	270
81～90	25	72	132	48	43	12	0	0	332
91～100	36	58	48	30	24	0	0	0	196
101～500	32	166	340	245	380	214	0	0	1,377
501～1,000	0	0	1	24	150	79	0	0	254
1,001～5,000	0	0	12	0	24	36	12	0	84
5,001～	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	99,756	40,899	3,839	1,031	1,243	405	36	0	147,209

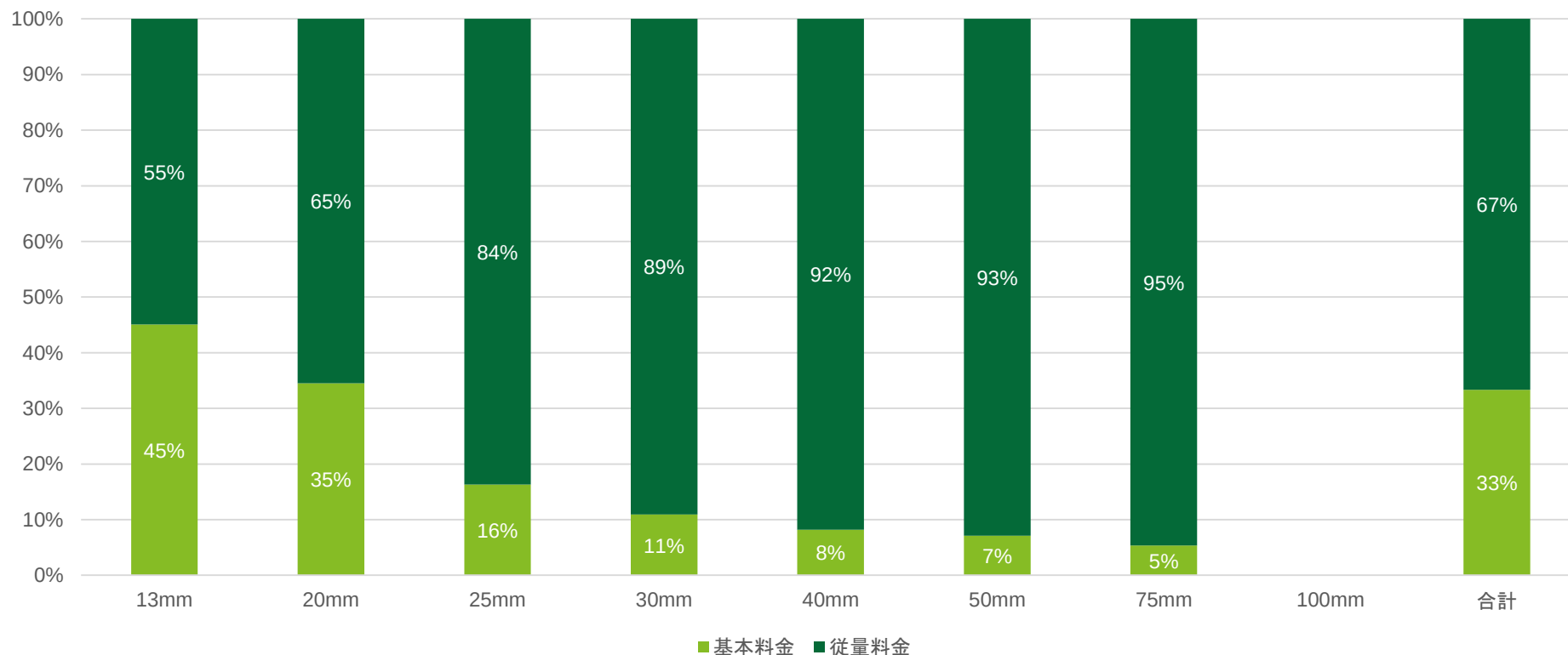
※平均使用水量は、各使用者の使用水量合計を調定件数で除して算出

料金収入のうち、基本料金収入が33%、従量料金収入が67%を占めています

①基本料金と従量料金の収入割合(口径別)

- 料金収入のうち、基本料金収入が33%、従量料金収入が67%を占めています。
- 13mm口径は、基本料金収入が45%と他の口径と比べ割合が高くなっています。

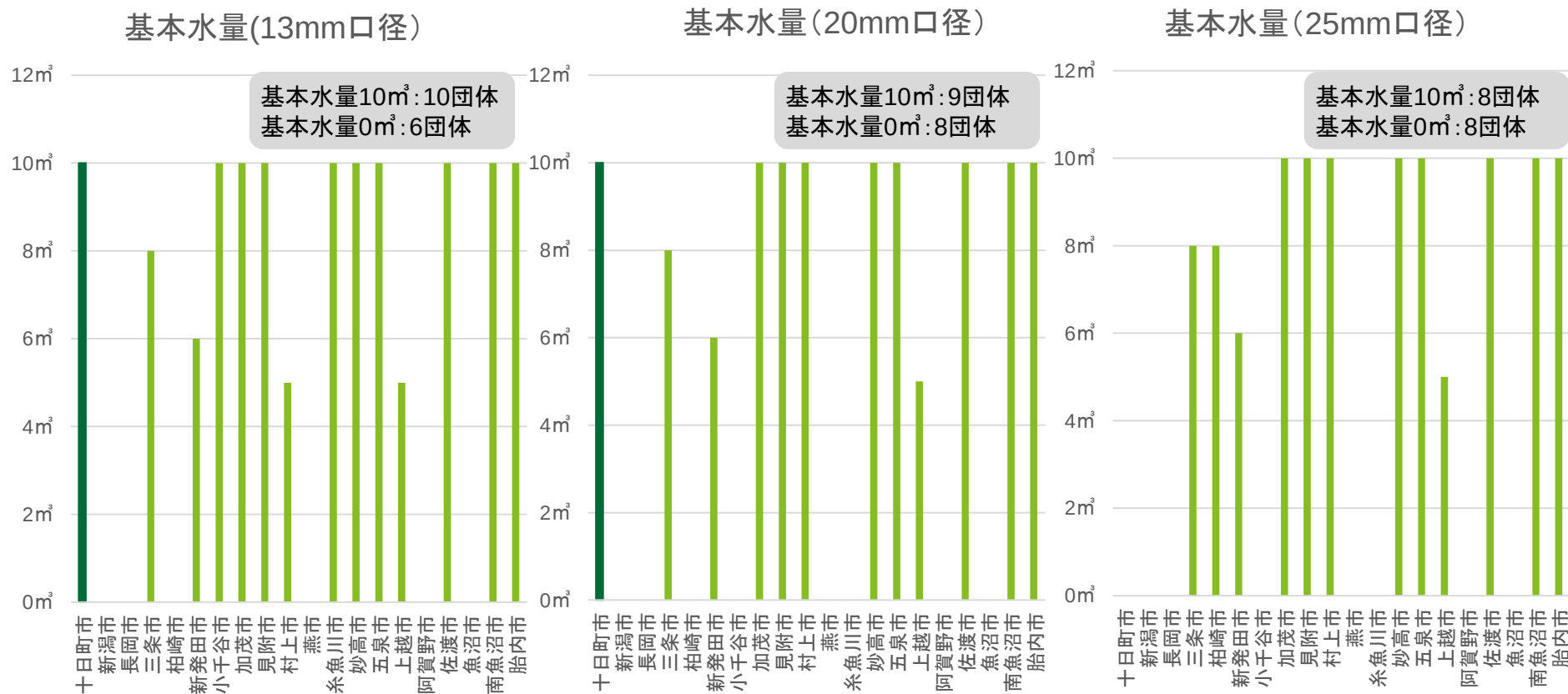
基本料金と従量料金の収入



20mm口径以下では、基本水量を10m³とする市(新潟県内)が最も多いです

②基本水量 他市比較(13・20・25mm口径)

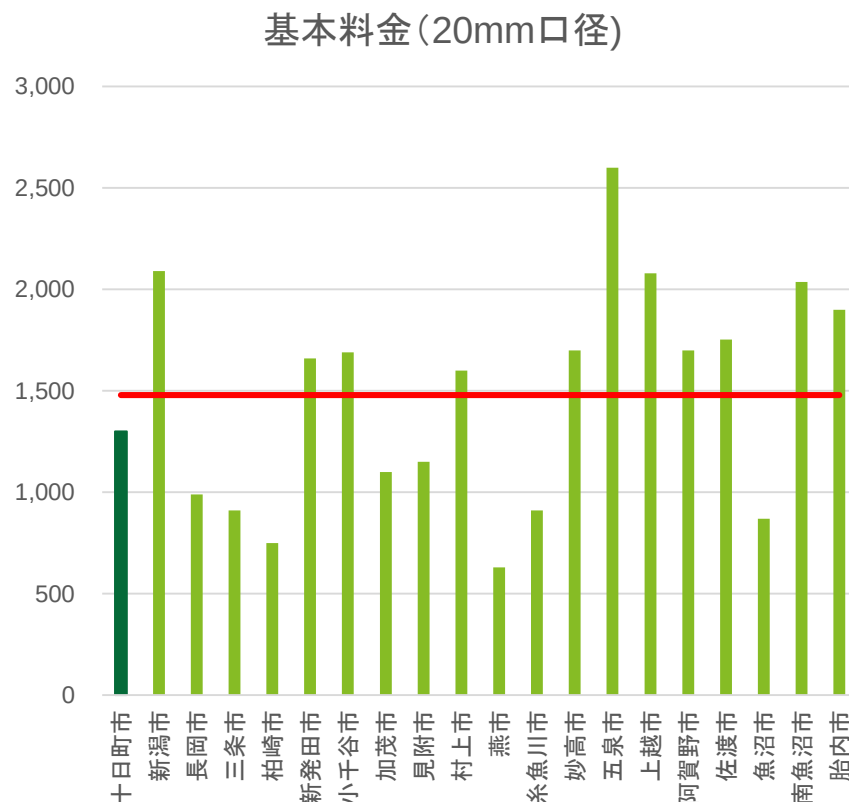
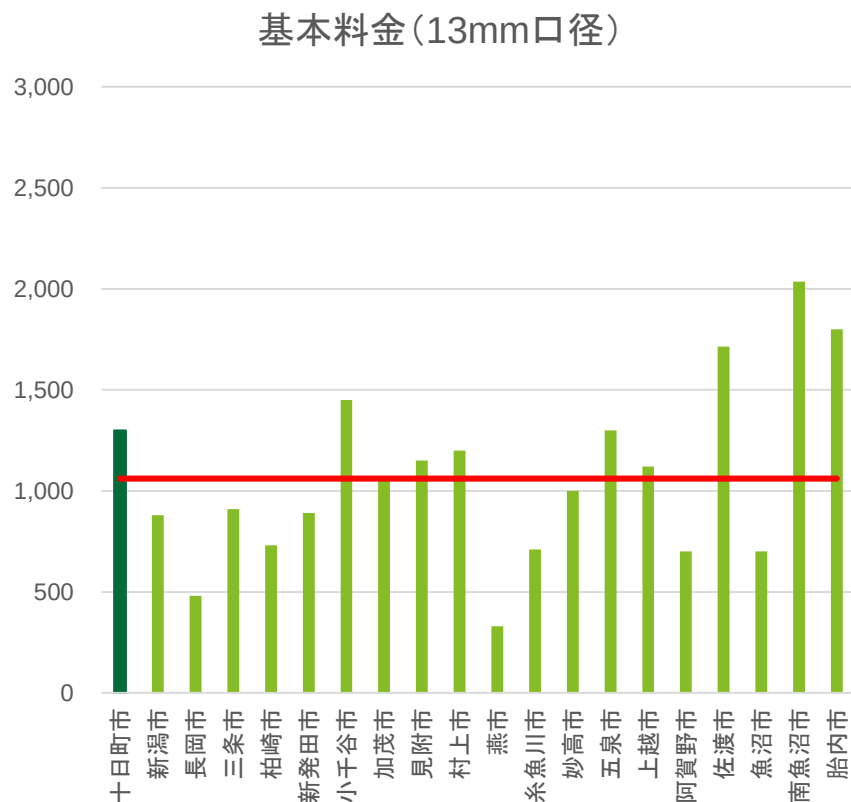
- 新潟県内の市(20団体)について、20mm口径までは、基本水量を10m³とする市が最も多く、その次に0m³とする自治体が多い傾向にあります。一方で、30mm口径以降は基本水量を0m³とする自治体が最も多くなる傾向にあります。



口径別の基本料金は、20mm口径以上で他市平均を下回っています

③基本料金 他市比較(13・20mm口径)

- 一般家庭用の口径について、貴市の基本料金を新潟県内の他市と比較すると、13mm口径は他市平均を超えていますが、20mm口径では他市平均を下回っています。
- 25mm以降の口径についても、他市平均を下回っています。

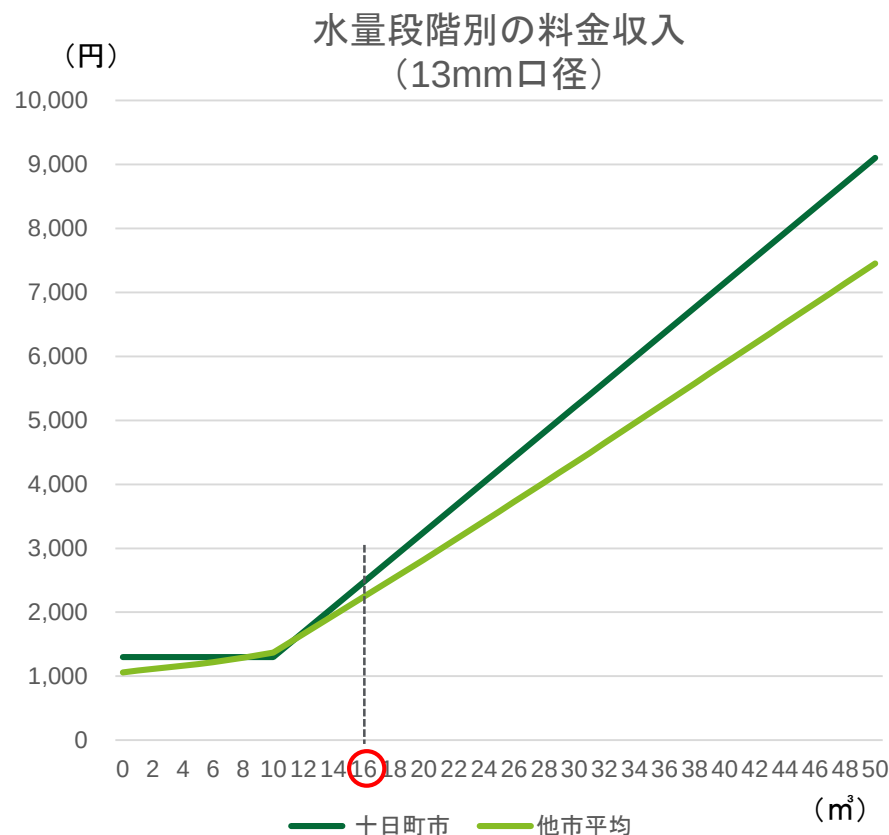


※赤線:他市平均(新潟県内の市)

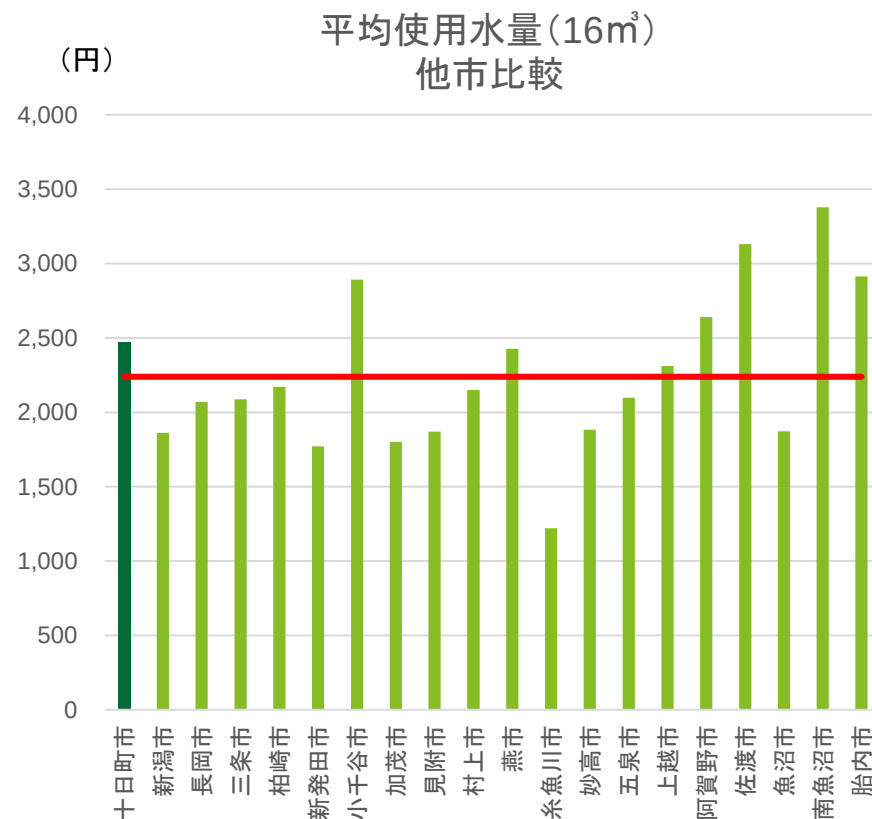
13mm口径の平均使用水量(16m³)での料金収入は、他市より高い水準です

④料金収入 他市比較(13mm口径)

- 平均使用水量(16m³)において、貴市の料金収入を新潟県内の他市と比較すると、他市平均より高水準となっています。



※他市平均:新潟県内の市



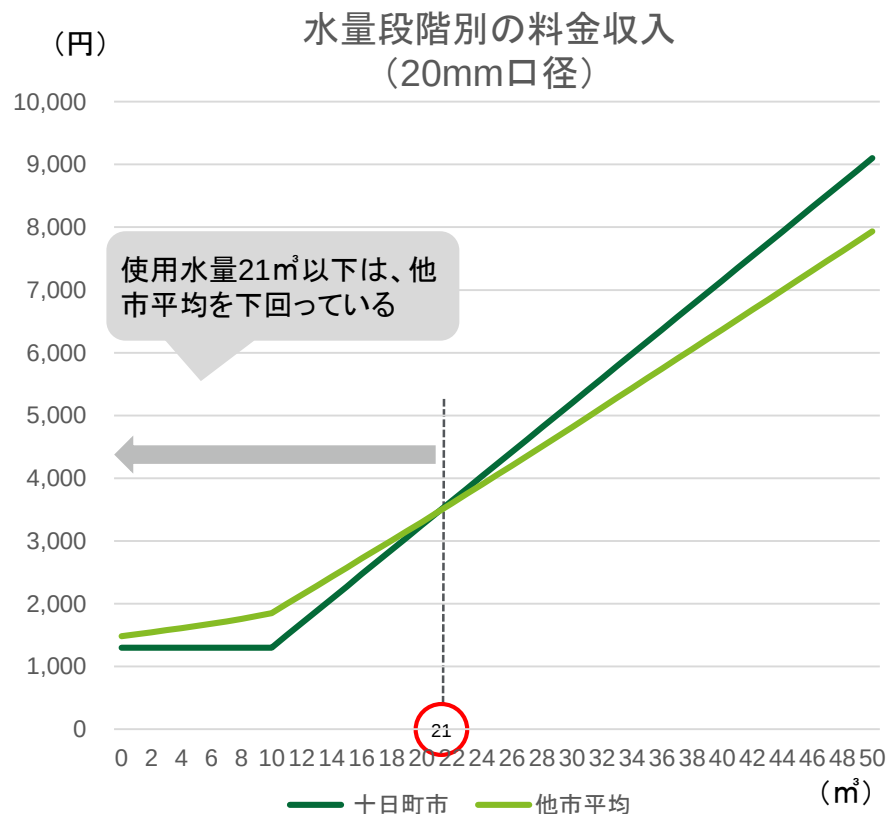
※平均使用水量(使用水量÷調定件数)は2019年度の貴市の実績より算出

※赤線:他市平均(新潟県内の市)

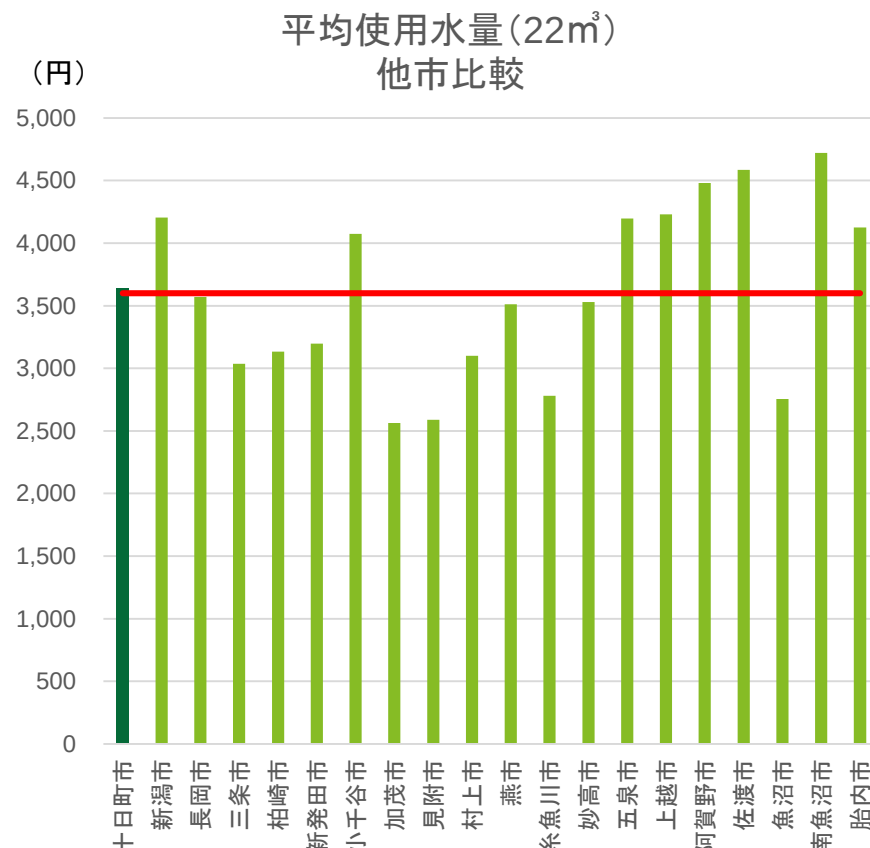
20mm口径の平均使用水量(22m³)での料金収入は、他市平均と同水準です

④料金収入 他市比較(20mm口径)

- 平均使用水量(22m³)において、貴市の料金収入を新潟県内の他市と比較すると、概ね他市平均と同水準となります。
- 使用水量21m³以下については、他市平均を下回っています。



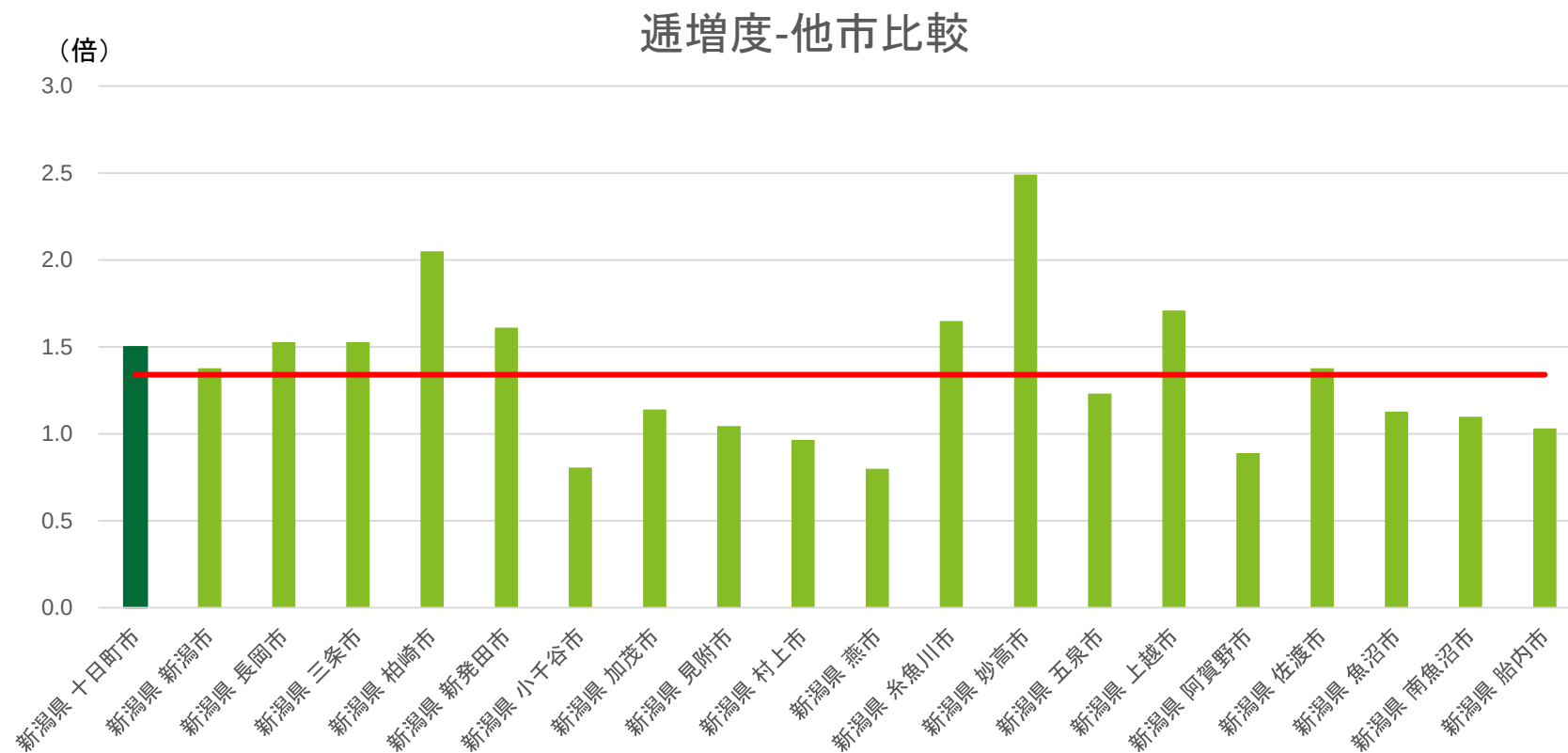
※他市平均:新潟県内の市



通増度は他市平均より高い水準です

⑤通増度 他市比較

- 貴市の通増度は他市平均を上回っています。

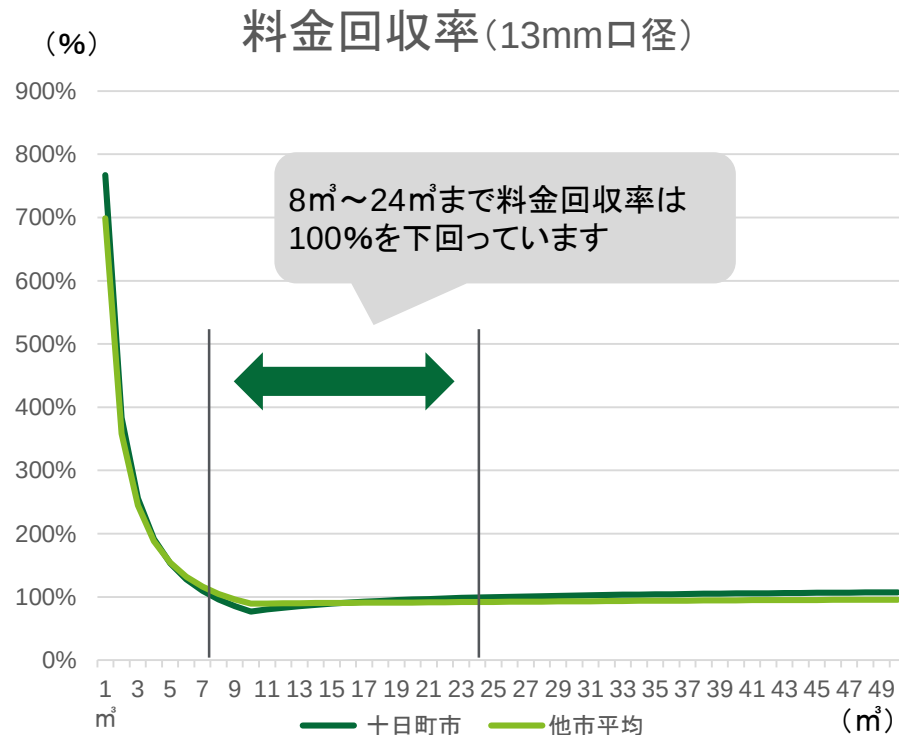


※赤線: 他市平均(新潟県内の市)

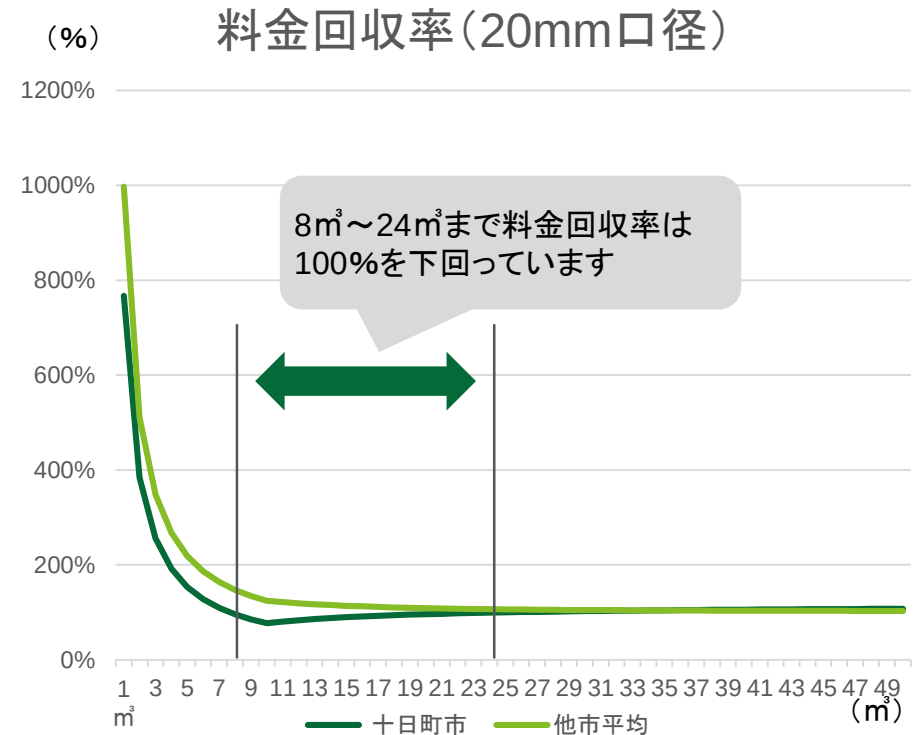
13・20mm口径について使用水量8～24m³で、料金回収率が100%を下回っています

⑥料金回収率 他市比較(13・20mm口径)

- 13mm口径及び20mm口径について、使用水量8m³～24m³で、料金回収率が100%を下回っており、供給単価で給水原価を賄い切れていないことが分かります。
- 25mm口径以上では、料金回収率は100%を超えています。



※他市平均:新潟県内の市



上水道事業における料金体系の課題と対応策(案)は以下の通りです

総括

課題	対応策(案)
基本水量以下の使用水量が増加傾向(基本水量以上の使用水量は減少傾向)にあります。	安定的に料金収入を確保する為には、基本水量の引き下げや基本料金の値上げを検討する必要があります。
基本料金について、13mm口径は他市平均を上回っている一方、20mm口径は他市平均を下回っています。	料金体系を見直す際には、13mm口径と20mm口径で異なる基本料金を設定することが考えられます(現行では同一)。
他市と比較して逓増度が高い傾向にあり、大口使用者の負担が大きい状況です。	料金の見直しを行う際には、使用者間の負担のバランスを勘案した検討を行う必要があります。
13・20mm口径の料金回収率について、使用水量8m ³ ～24m ³ の料金回収率が100%未満となっており、当該使用水量の利用者は供給単価で給水原価を賄い切れていない状況です。	料金回収率を100%以上にする為に、基本料金及び従量料金の見直しを行う必要があります。

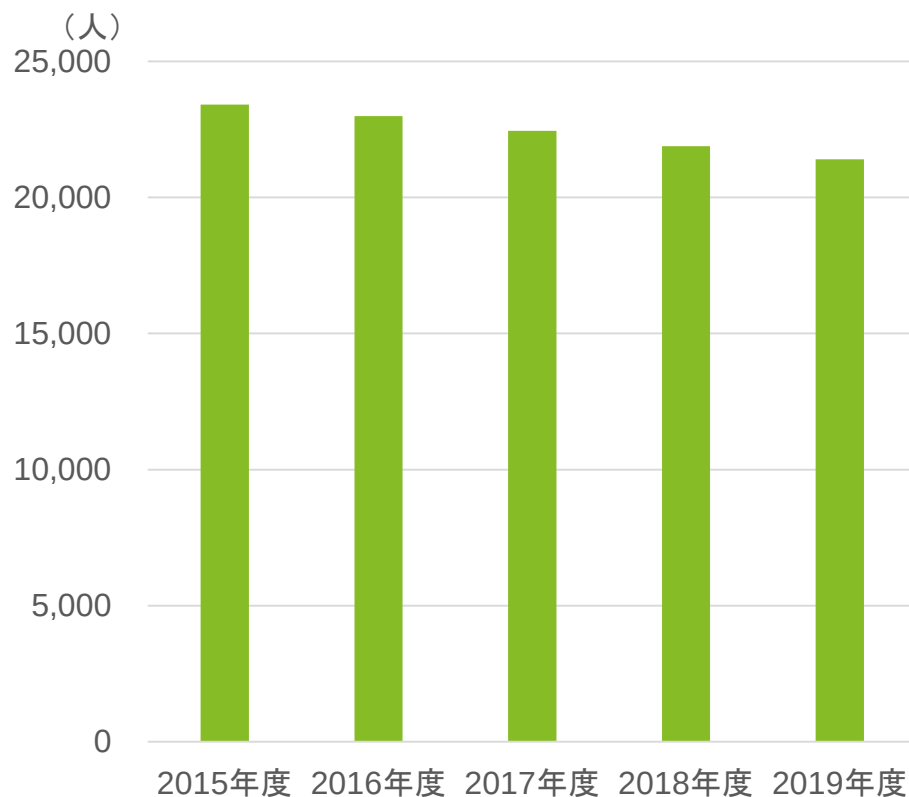
簡易水道の料金について

給水人口及び有収水量は、減少傾向にあります

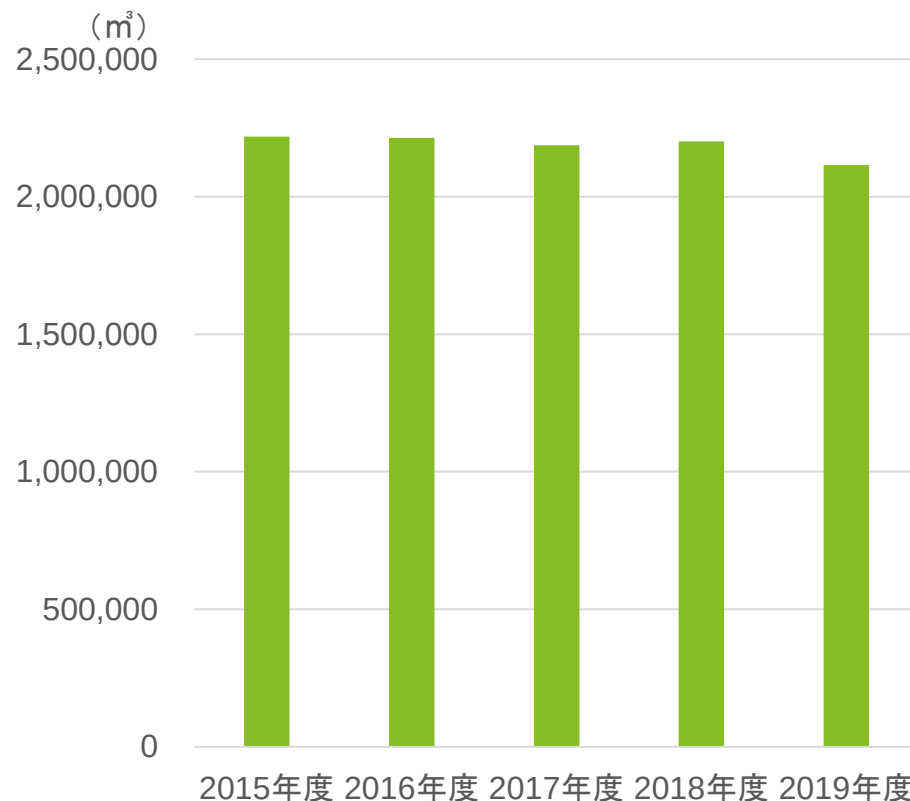
概要 給水人口と有収水量の推移

- 今後も人口減少や節水意識の向上により、この傾向は続くことが見込まれます。

給水人口の推移



年間有収水量の推移

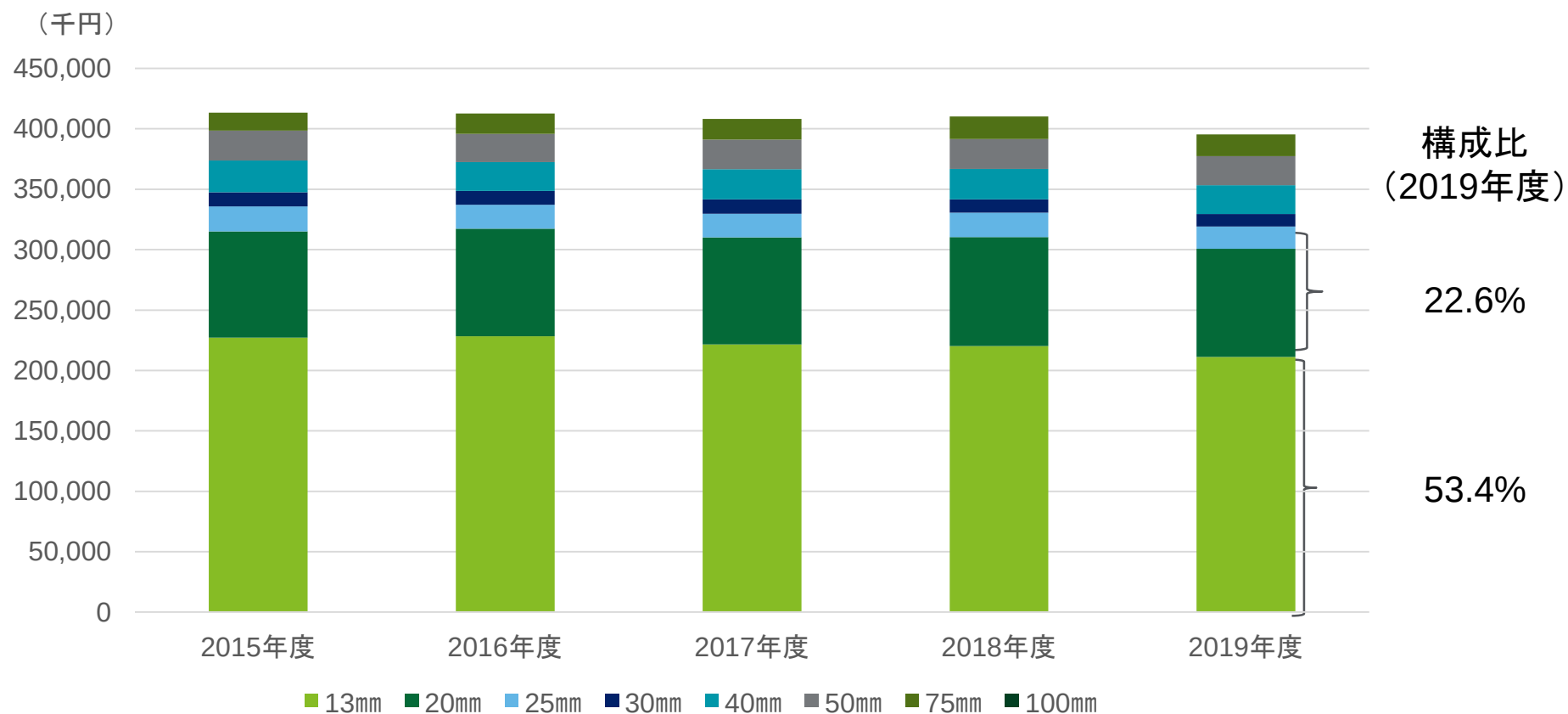


料金収入のうち、13・20mm口径の料金収入が76%を占めています

概要 口径別料金収入の推移

- 13・20mm口径の使用水量の合計は、全体の76.0%を占めています。

口径別の料金収入の推移

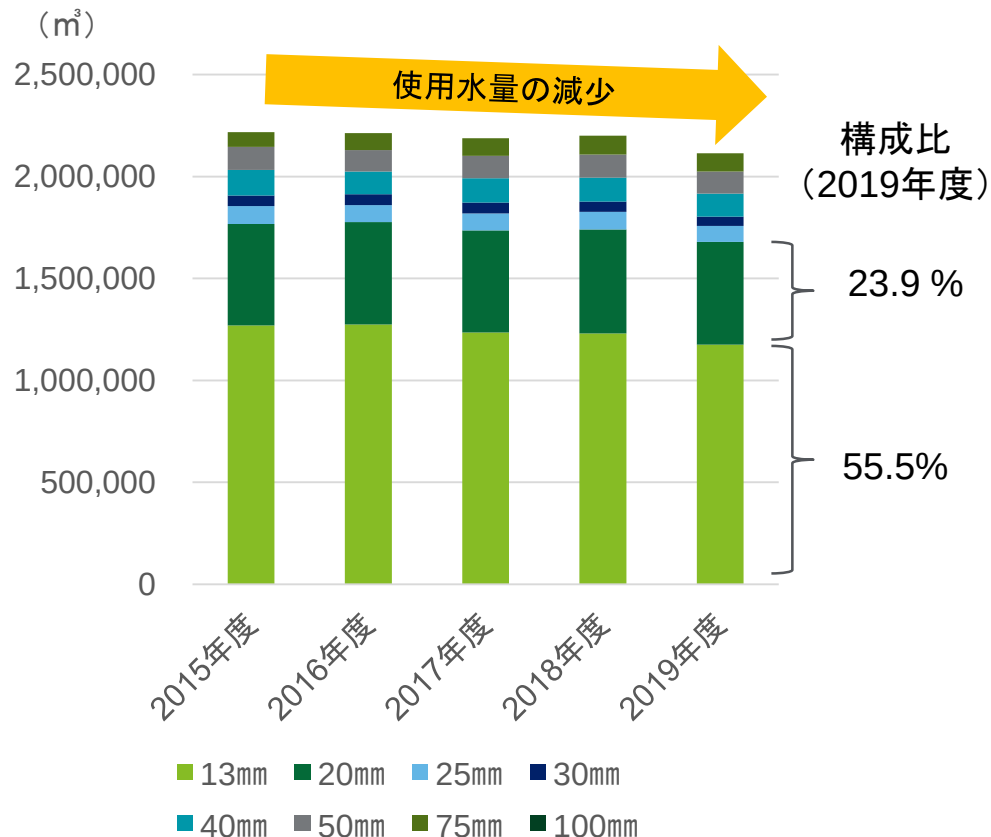


基本水量(10m³)以下の使用水量が増加傾向にあります

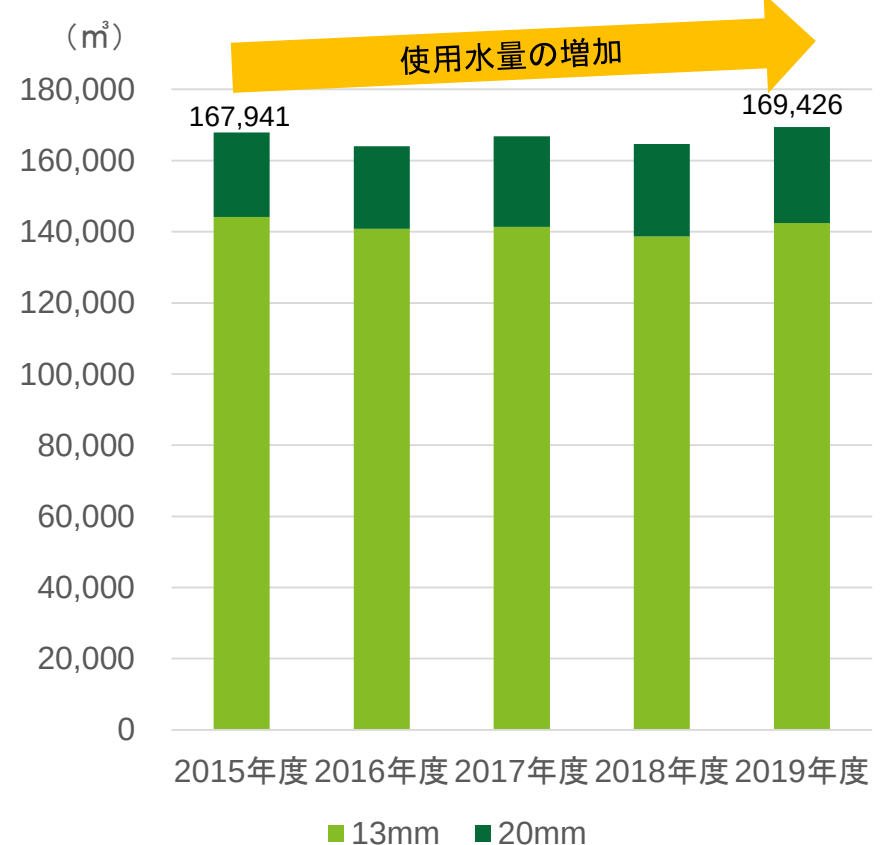
概要 口径別使用水量の推移

- 13mm口径と20mm口径の使用水量の合計は、全体の79.4%を占めています。
- 全体の使用水量は減少しているものの、基本水量以下の使用水量は増加傾向にあります。

口径別の使用水量の推移



基本水量以下の使用水量の推移



平均使用水量11m³～40m³の料金収入が53.6%を占めています

概要 口径別・水量区画別の料金収入(2019年度)

- 料金収入のうち、平均使用水量11m³～40m³が53.6%占めています。
- 平均使用水量101m³以上は19.9%と一定程度の影響があります。

平均使用 水量 (m³)	口径								合計	
	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm		
0～5	11.5%	18,732	4,176	1,030	237	258	221	0	0	24,655
6～10		19,133	3,388	1,067	136	119	83	0	53.6%	23,926
11～20		53,195	16,514	889	578	343	314	0	0	71,833
21～30		56,332	25,457	1,418	317	584	534	0	0	84,643
31～40		36,142	18,104	962	234	132	0	0	0	55,575
41～50		17,513	10,430	1,513	269	441	169	235	0	30,570
51～60		5,830	3,358	763	750	503	0	0	0	11,204
61～70		2,182	2,414	1,109	176	189	446	0	0	6,516
71～80		838	1,478	507	608	443	509	322	0	4,705
81～90		0	187	437	914	0	272	0	0	1,810
91～100		43	0	714	479	0	0	0	19.9%	1,236
101～500		1,242	3,911	6,349	3,327	9,636	9,379	0	0	33,844
501～1,000		0	0	1,772	2,264	4,638	5,113	0	0	13,786
1,001～ 5,000		0	0	0	0	6,699	6,896	17,473	0	31,068
5,001～		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		211,184	89,416	18,532	10,289	23,985	23,936	18,030	0	395,371

※平均使用水量は、各使用者の使用水量合計を調定件数で除して算出

利用者のうち、33.9%が基本水量を下回っています

概要 口径別・水量区画別の調定件数(2019年度)

- 調定件数のうち、平均使用水量が基本水量(10m³)を下回る割合は33.9%となっています(13・20mm口径のみ)。

平均使用 水量 (m³)	口径									合計
	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm		
0～5	33.9%	14,337	3,183	446	96	66	36	0	0	18,164
6～10		13,899	2,411	322	36	24	12	0	58.3%	16,704
11～20		22,556	6,670	174	108	55	36	0	0	29,599
21～30		13,170	6,015	206	44	72	49	0	0	19,556
31～40		5,890	2,925	108	24	12	0	0	0	8,959
41～50		2,171	1,296	144	24	36	12	12	0	3,695
51～60		589	336	60	57	36	0	0	0	1,078
61～70		180	204	75	12	12	24	0	0	507
71～80		60	108	30	36	24	24	12	0	294
81～90		0	12	24	48	0	12	0	0	96
91～100		1	0	36	24	0	0	0	1.1%	61
101～500		50	148	192	101	193	200	0	0	884
501～1,000		0	0	12	12	36	36	0	0	96
1,001～5,000		0	0	0	0	24	24	24	0	72
5,001～		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		72,903	23,308	1,829	622	590	465	48	0	99,765

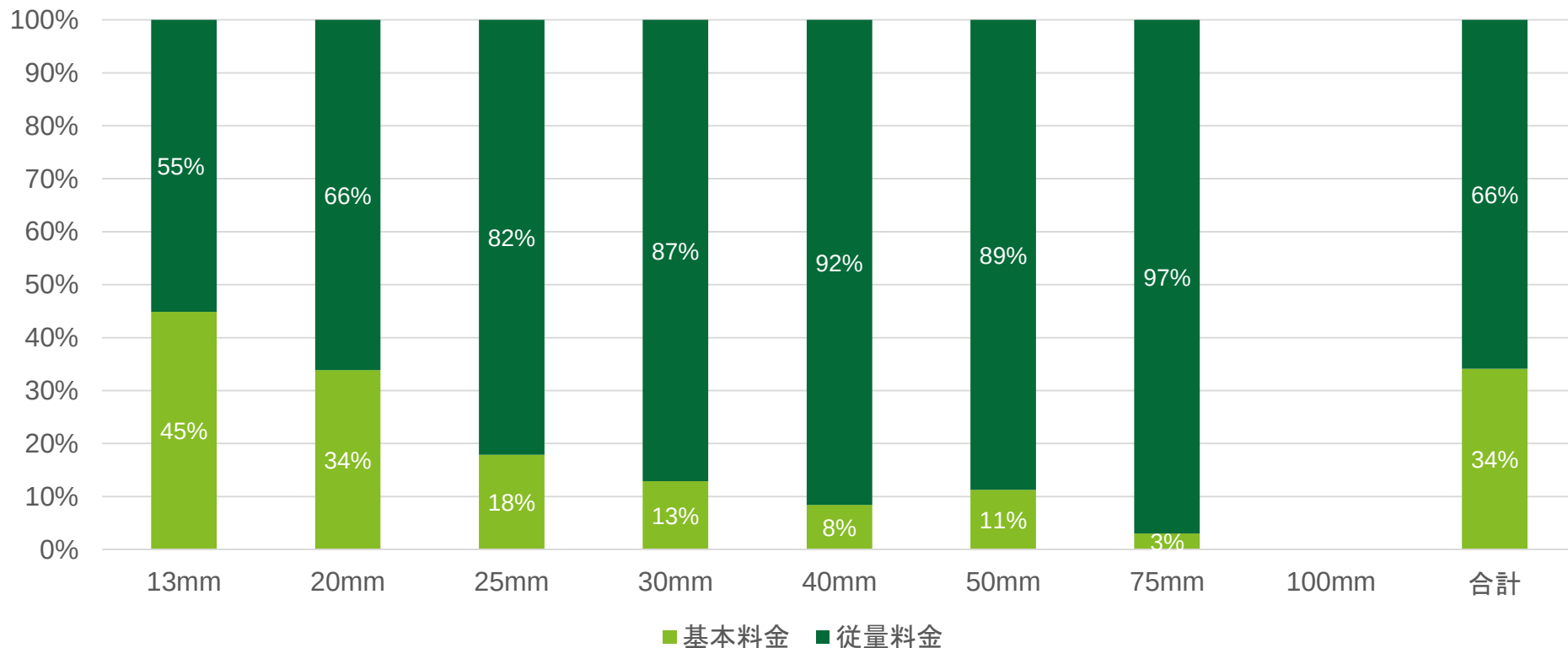
※平均使用水量は、各使用者の使用水量合計を調定件数で除して算出

料金収入のうち、基本料金収入が34%、従量料金収入が66%を占めています

①基本料金と従量料金の収入割合(口径別)

- 料金収入のうち、基本料金収入が34%、従量料金収入が66%を占めています。
- 13mm口径は、基本料金収入が45%と他の口径と比べ割合が高くなっています。

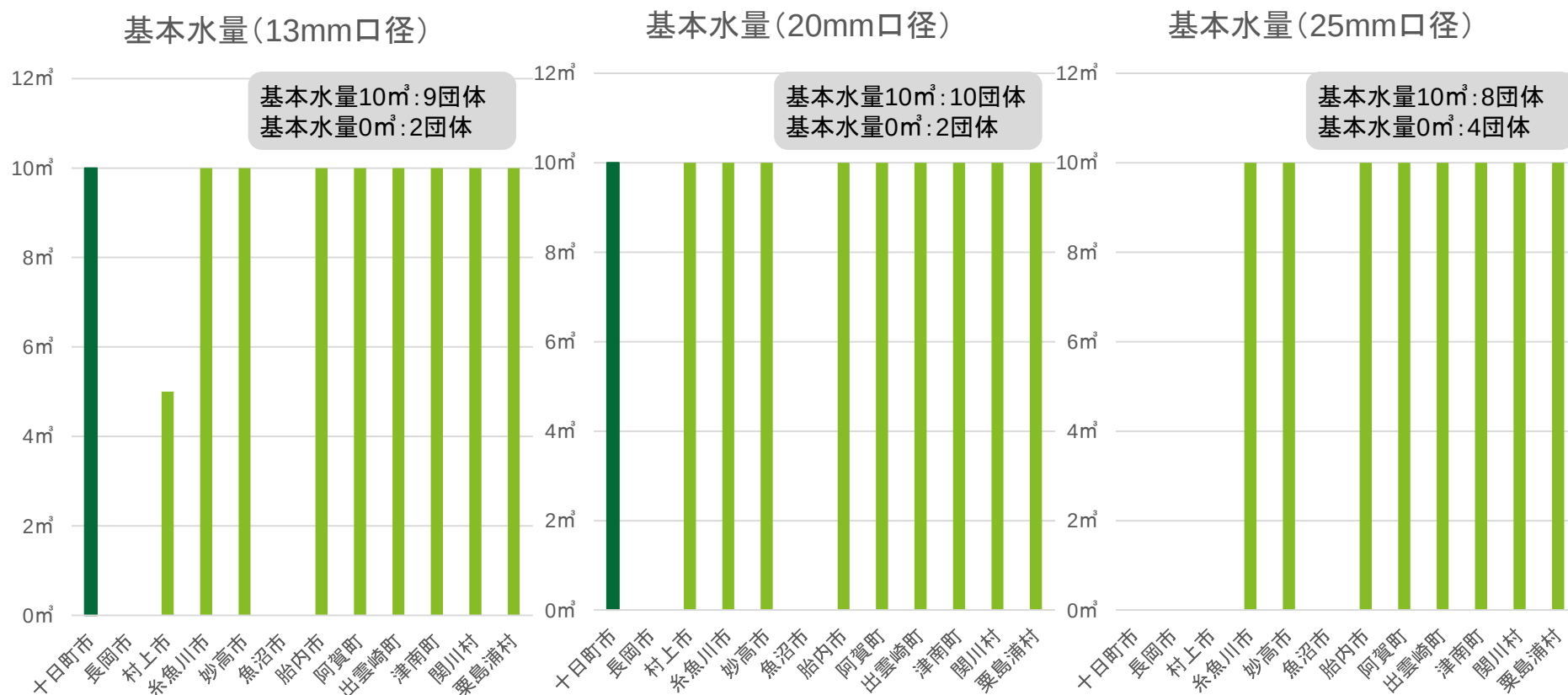
基本料金と従量料金の収入割合



全ての口径で、基本水量を10m³とする他市町村(新潟県内)が最も多いです

②基本水量 他市町村比較(13・20・25mm口径)

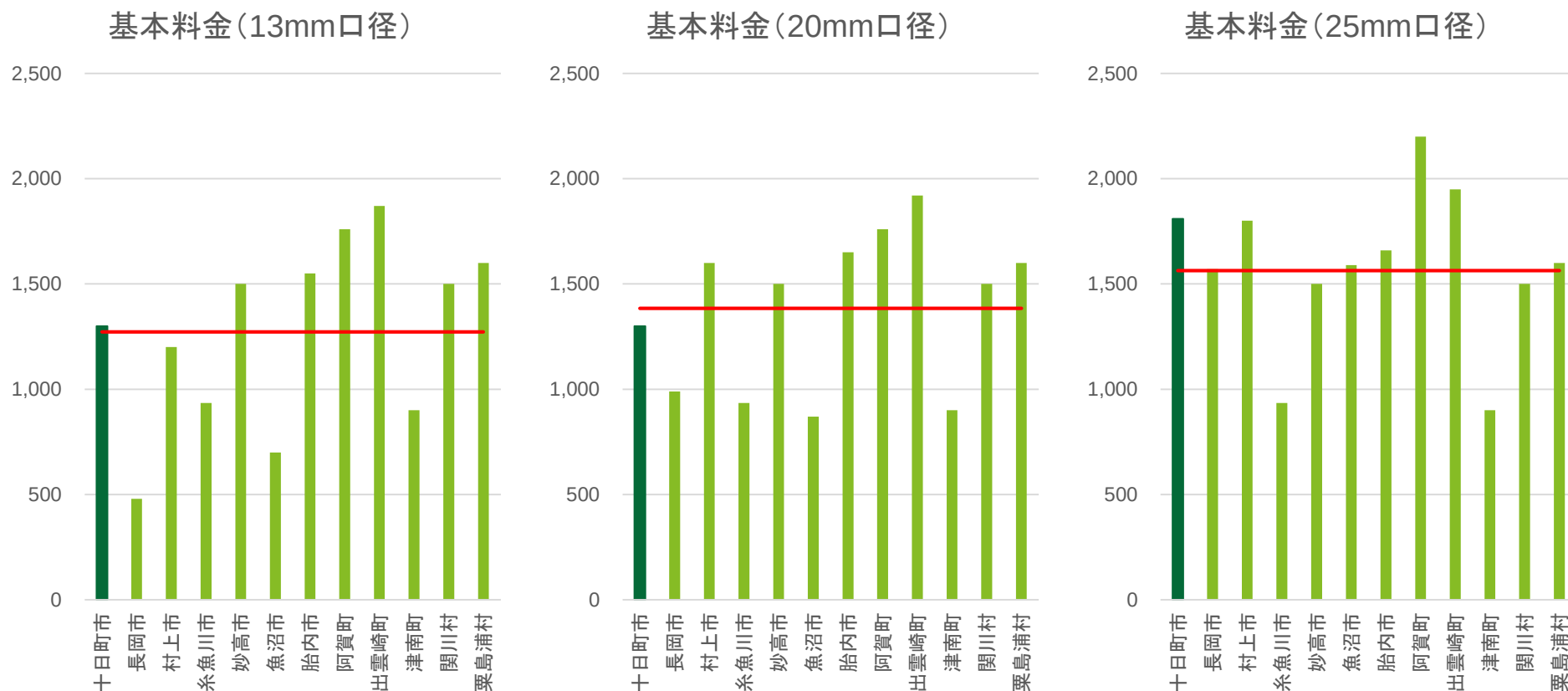
- 新潟県内の簡易水道事業を営む市町村(12団体)について、各口径で同一の基本水量を設定している傾向にあります。
- 25mm口径以上の基本水量については、100mm口径の設定がない場合を除いて、同様となっています。



口径別の基本料金は、20mm口径で他市町村平均を下回っています

③基本料金 他市町村比較(13・20・25mm口径)

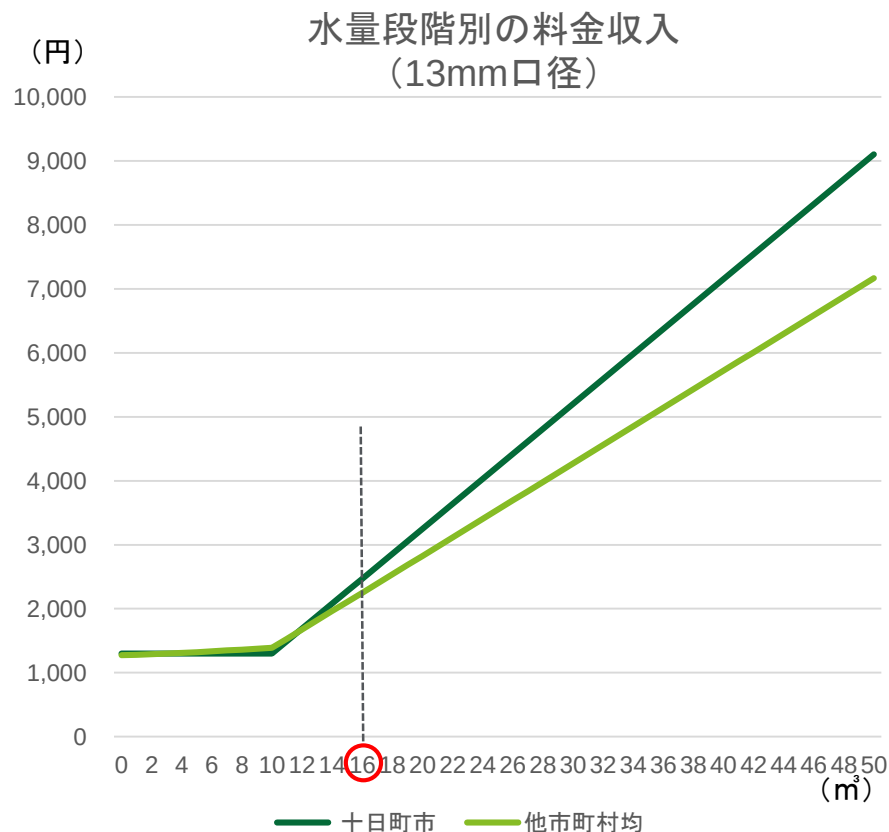
- 一般家庭用の口径について、貴市の基本料金を新潟県内の簡易水道事業を営む市町村(12団体)と比較すると、13mm口径は概ね他市町村平均程度ですが、20mm口径では他市町村平均を下回っています。
- 25mm以降の口径については、他市町村平均を上回っています。



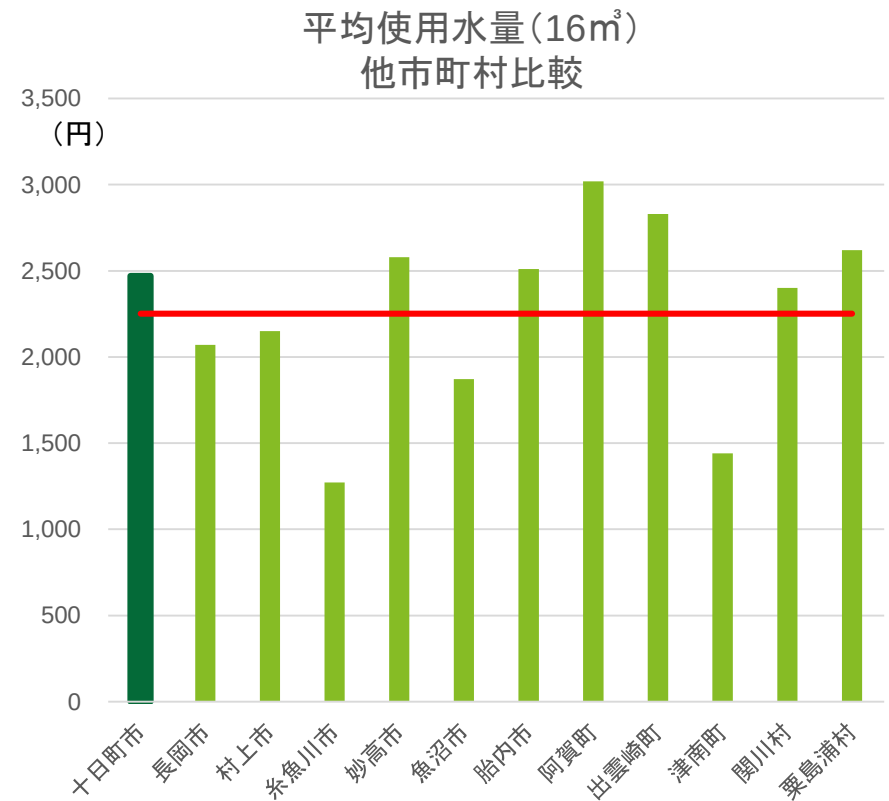
13mm口径の平均使用水量(16m³)での料金収入は、他市町村より高い水準です

④料金収入 他市町村比較(13mm口径)

- 平均使用水量(16m³)において、貴市の料金収入を新潟県内の簡易水道事業を営む市町村(12団体)と比較すると、他市町村平均よりも高い水準となっています。



※他市町村平均(新潟県内の簡易水道事業を営む市町村)

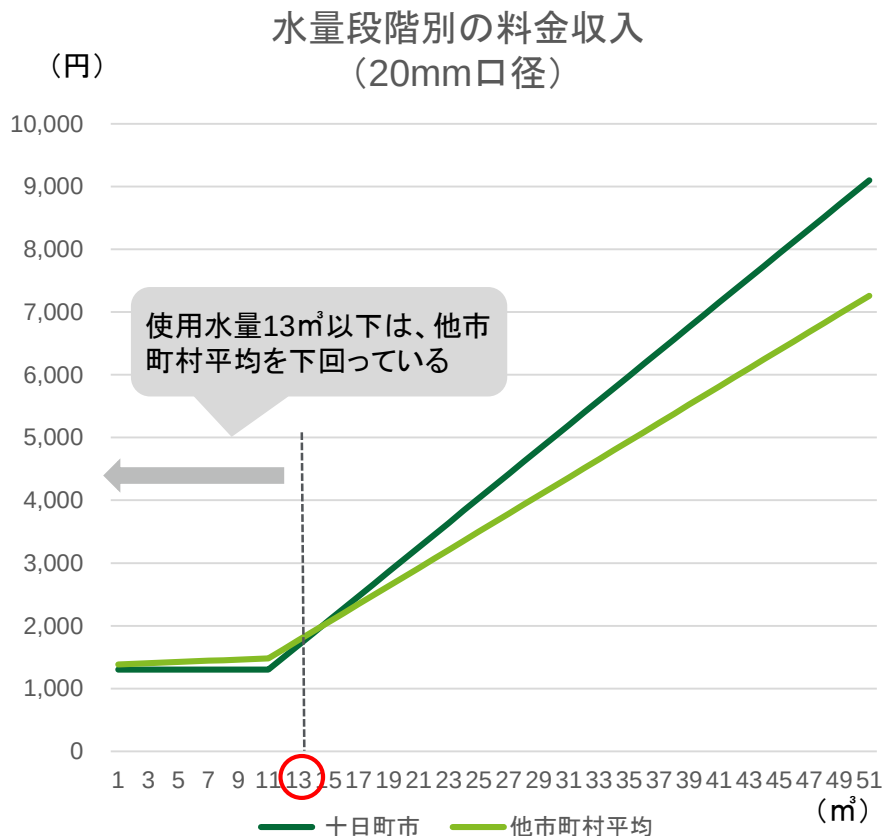


※平均使用水量(使用水量÷調定件数)は2019年度の貴市の実績より算出
※赤線: 他市町村平均(新潟県内の簡易水道事業を営む市及び村)

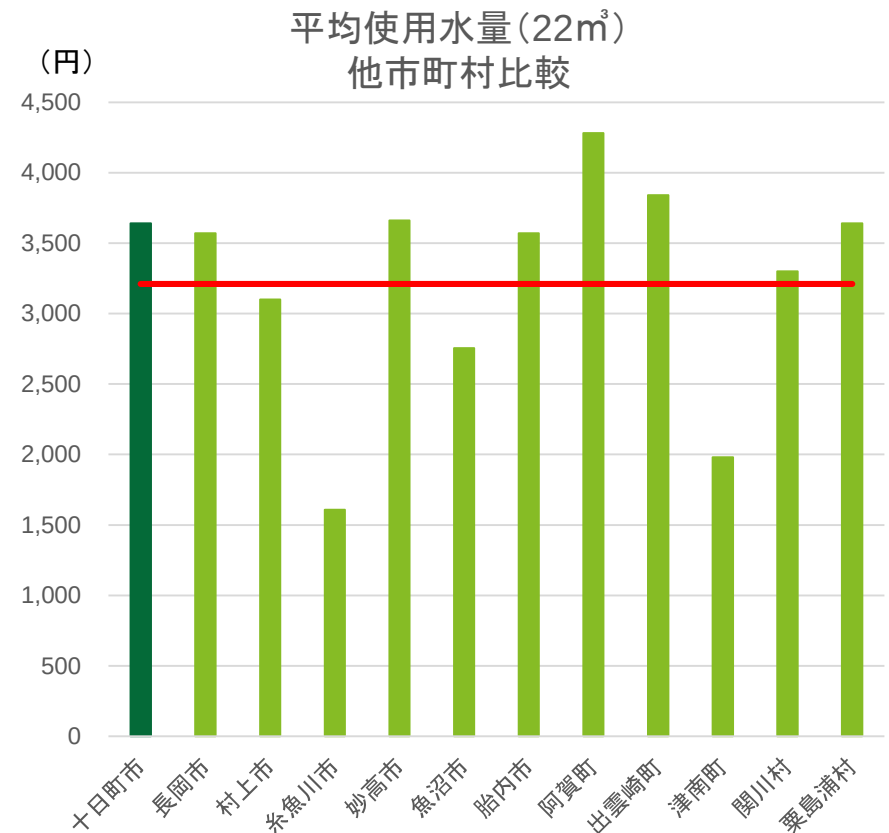
20mm口径の平均使用水量(22m³)での料金収入は、他市町村平均と同水準です

④料金収入 他市町村比較(20mm口径)

- 平均使用水量(22m³)において、貴市の料金収入を新潟県内の簡易水道事業を営む団体(12団体)と比較すると、概ね他市町村平均と同水準となっています。
- 使用水量13m³以下では、他市町村平均を下回っています。



※他市町村平均(新潟県内の簡易水道事業を営む市町村)



※平均使用水量(使用水量÷調定件数)は2019年度の貴市の実績より算出
※赤線:他市町村平均(新潟県内の簡易水道事業を営む市町村)

逓増度は他市町村平均より高い水準です

⑤逓増度 他市町村比較

- 貴市の逓増度を新潟県内の簡易水道事業を営む他市町村(12団体)と比較すると、高い水準にあります。

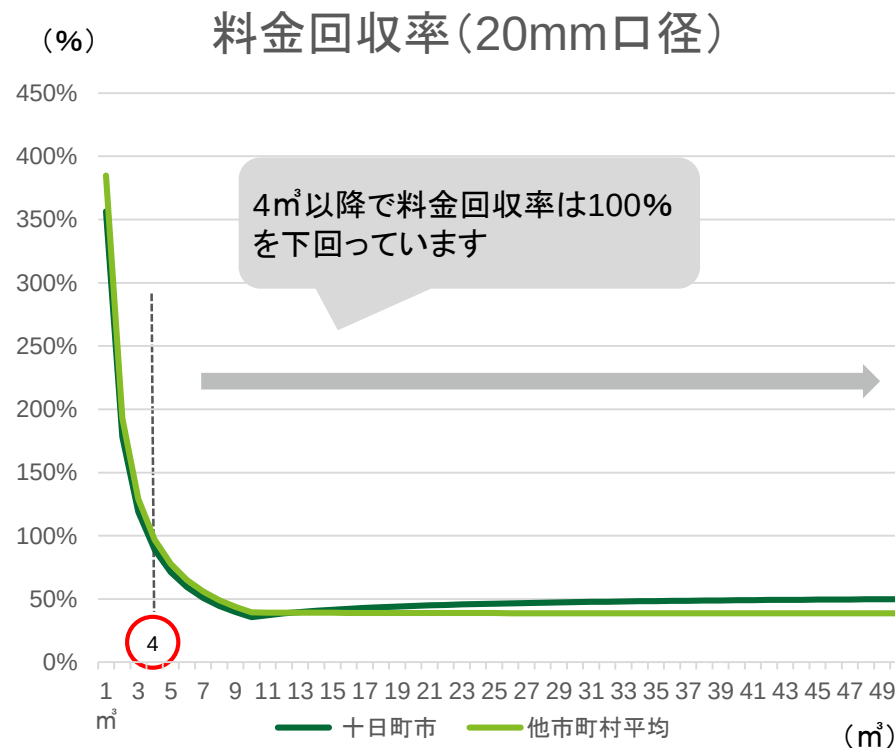
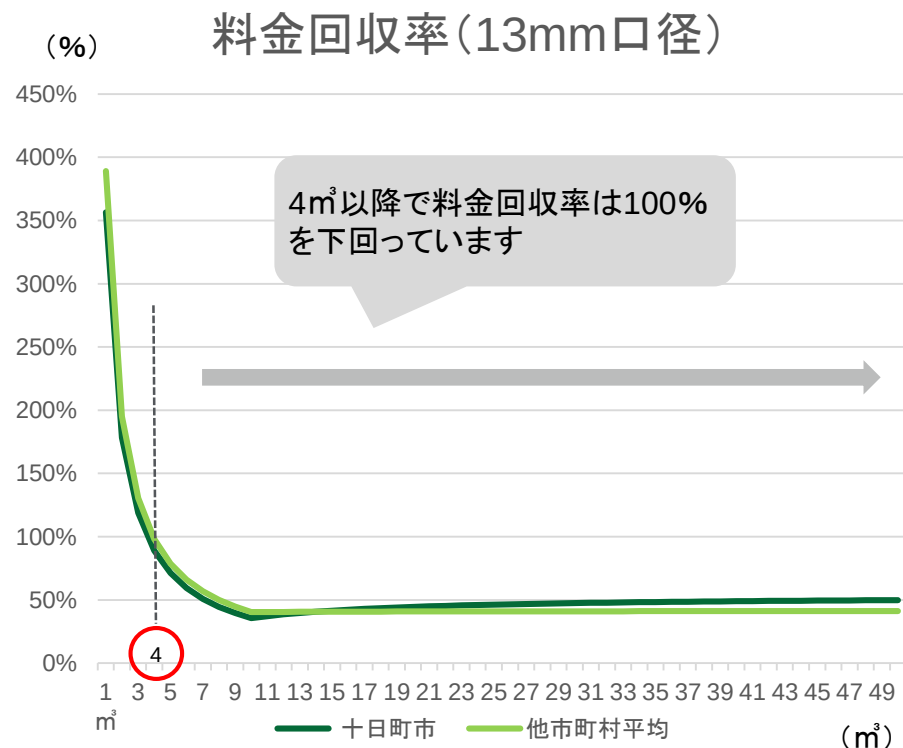


※赤線: 他市町村平均(新潟県内の簡易水道事業を営む市町村)

各口径について、一定の使用水量を超えると料金回収率が100%を下回ります

⑥料金回収率 他市町村比較(13・20mm口径)

- 貴市及び他市町村平均の13mm口径及び20mm口径について、使用水量 8m^3 ～ 24m^3 で、料金回収率が100%を下回っており供給単価で給水原価を賄い切れていない状況となっています。
- 貴市の25mm口径では 11m^3 、30mm口径では 13m^3 、40mm口径では 21m^3 、50mm口径では 35m^3 、75mm口径では 68m^3 を超えると料金回収率100%を下回っています。



※他市町村平均:新潟県内の簡易水道事業を営む市及び村

簡易水道事業における料金体系の課題と対応策(案)は以下の通りです

総括

課題	対応策(案)
基本水量以下の使用水量が増加傾向(基本水量以上の使用水量は減少傾向)にあります。	安定的に料金収入を確保する為には、基本水量の引き下げや基本料金の値上げを検討する必要があります。
基本料金について、13mm口径は他市町村平均を上回っている一方、20mm口径は他市町村平均を下回っています。	料金体系を見直す際には、13mm口径と20mm口径で異なる基本料金を設定することが考えられます(現行では同一)。
他市町村と比較して逓増度が高い傾向にあり、大口使用者の負担が大きい状況です。	料金の見直しを行う際には、使用者間の負担のバランスを勘案した検討を行う必要があります。
各口径の料金回収率について一定の使用水量で料金回収率が100%未満となっており、当該使用水量の利用者は供給単価で給水原価を賄い切れていない状況です。	料金回収率を100%以上にする為に、基本料金及び従量料金の見直しを行う必要があります。

※上水道事業と課題と対応策(案)が同様の為、上水道事業と同一の料金体系で検討していくことが想定されます。

(参考)料金体系決定における検討事項

料金体系の具体的な検討事項

①基本料金と従量料金の収入割合 (1ヶ月当たり)					
③口径別基本料金 (設定)		②基本水量 (設定)			
用途	口径	基本料金	従量料金単価 (/m³)		
⑦用途別料金の検討 (設定なし)	13mm	1,300円	~10m³	0円	
	20mm	1,300円	11m³~	195円	
	25mm	1,810円	0m³~	195円	
	30mm	2,130円			
	40mm	3,420円			
	50mm	5,790円			
	75mm	11,270円			
	100mm	16,120円			
〇〇用			④従量料金の逡増度 (設定なし) ⑥口径別の従量料金 (設定)		
〇〇用			⑤水量区画 (設定なし)		